

I-1 日本人の旅行市場の概況

I 旅行者数

日本人の旅行平均回数 国内宿泊旅行1.28回、国内日帰り旅行1.05回、海外旅行はデータなし

日本人の旅行市場を「国内宿泊旅行」「国内日帰り旅行」「海外旅行」の3領域に大別し、旅行者数を概観する。なお2020年中に実施された海外旅行に係る調査結果のうち、観光庁の公開する統計が欠損値（データなし）である部分について、本項の本文では記述を省略し、図表では「-」として表示した。

●旅行平均回数

2020年の日本人の旅行平均回数は、国内宿泊旅行全体では1.28回/人、国内日帰り旅行全体では1.05回/人であった。各旅行の観光、帰省、出張の内訳については、図I-1-1左を参照。

●平均泊数

2020年の日本人の旅行における平均泊数は、国内宿泊旅行全体では2.42泊/人回であった。各旅行の観光、帰省、出張の内訳については、図I-1-1右を参照。

●延べ旅行者数

2020年の日本人の延べ旅行者数は、国内宿泊旅行全体では1億6,070万人、国内日帰り旅行全体では1億3,271万人であった。国内宿泊旅行の目的は観光が57.1%、帰省・知人訪問等が28.6%、出張・業務が14.2%であった。国内日帰り旅行の目的は国内宿泊旅行の目的は観光が67.3%、帰省・知人訪問等が17.6%、出張・業務が15.0%であった(図I-1-2左)。

●延べ泊数

2020年の日本人の延べ泊数については、国内宿泊旅行全体では3億8813万人泊であった。旅行目的は観光が39.0%、帰省・知人訪問等が40.7%、出張・業務が20.4%であった。(図I-1-2右)

図 I - 1-1 旅行平均回数および平均泊数(2020年)

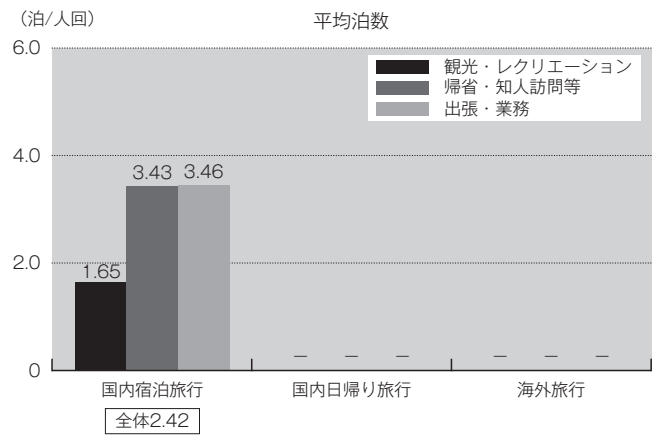
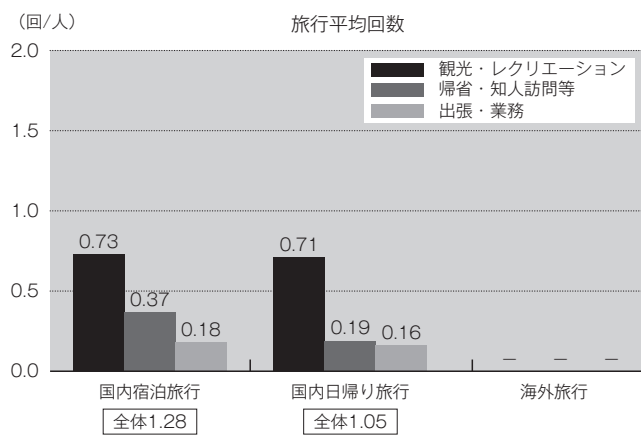
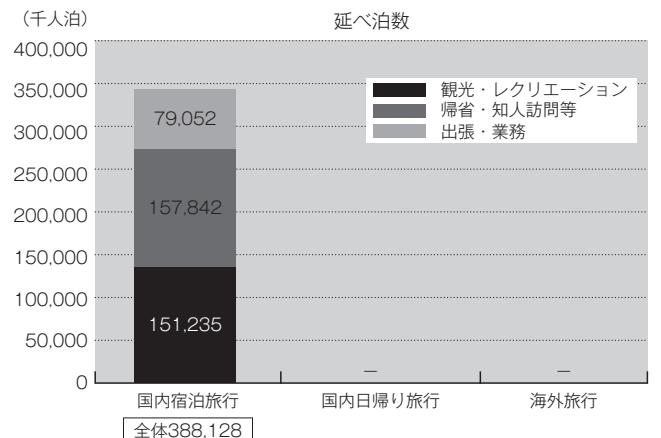
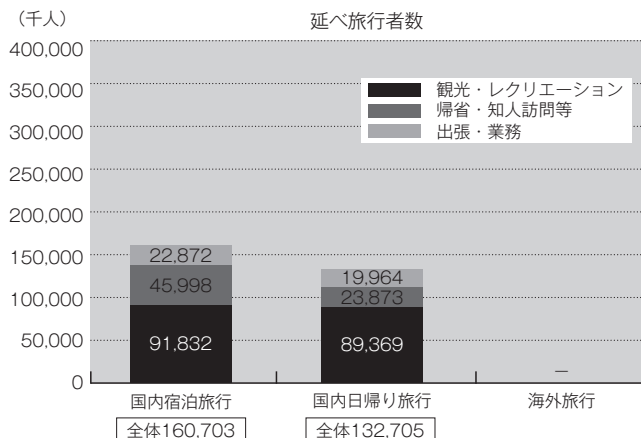


図 I - 1-2 延べ旅行者数および宿泊者の延べ泊数(2020年)



資料:いずれも観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

2 旅行市場区分（全体）

旅行全体の約半分が個人で実施する観光旅行

(1) 費用負担および旅行形態からみた旅行市場

第一に、旅行内容と旅行形態(団体・個人)に着目し、旅行市場を「個人で実施する観光旅行」「帰省や家事のための旅行」「組織が募集する団体旅行」「出張や業務旅行」「会社がらみの団体旅行」の5種類に区分した。この5つの市場区分について、延べ旅行者数(単位:人回)をベースとしてそれぞれのシェアを算出すると、「個人で実施する観光旅行」が最も大きなシェアを占めていることが分かる。国内旅行では60.4%、海外旅行では45.5%が「個人で実施する観光旅行」であった。次点は国内・海外旅行ともに「出張や業務旅行」、第三位は「帰省や家事のための旅行」であった(表I-1-1)。

表 I - 1-1 旅行形態に着目した旅行市場区分シェア(2020年)

(単位:%)

市場区分	定義	国内旅行	海外旅行
個人で実施する観光旅行	個人で実施する観光旅行。スポーツ旅行。旅行会社のバック旅行に参加した場合も含める。	60.4	45.5
帰省や家事のための旅行	帰省や冠婚葬祭関連の旅行。(帰省ついでに行った観光旅行は観光・レクリエーション旅行)	12.5	11.1
組織が募集する団体旅行	町内、農協、郵便局、信金、宗教団体、サークルなどが募集する旅行。	4.8	10.1
出張や業務旅行	打合せや会議、視察目的の旅行。	13.2	15.4
会社がらみの団体旅行	職場旅行や招待、報奨旅行。団体で行動する旅行。	4.1	9.2
その他の旅行	上記のいずれにもあてはまらない旅行。	4.9	8.7

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

表 I - 1-2 旅行費用の負担者別にみるシェア(2020年)

(単位:%)

費用負担者	市場区分	国内旅行	海外旅行
個人負担	個人で実施する観光旅行	77.7	66.7
	帰省や家事のための旅行		
	組織が募集する団体旅行		
法人負担	出張や業務旅行	17.4	24.6
	会社がらみの団体旅行		
	その他の旅行		

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

表 I - 1-3 旅行形態別にみるシェア(2020年)

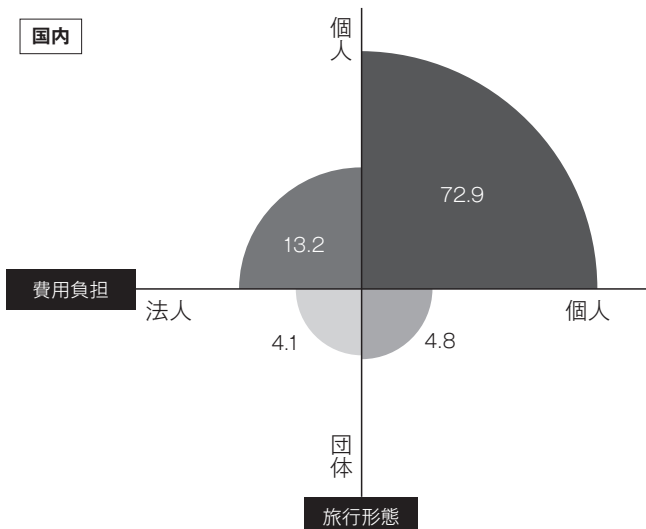
(単位:%)

旅行形態	市場区分	国内旅行	海外旅行
個人旅行	個人で実施する観光旅行	86.1	72.1
	帰省や家事のための旅行		
	出張や業務旅行		
団体旅行	組織が募集する団体旅行	8.9	19.3
	会社がらみの団体旅行		
	その他の旅行		

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図 I - 1-3 国内旅行の負担者別・旅行形態別のシェア(2020年)

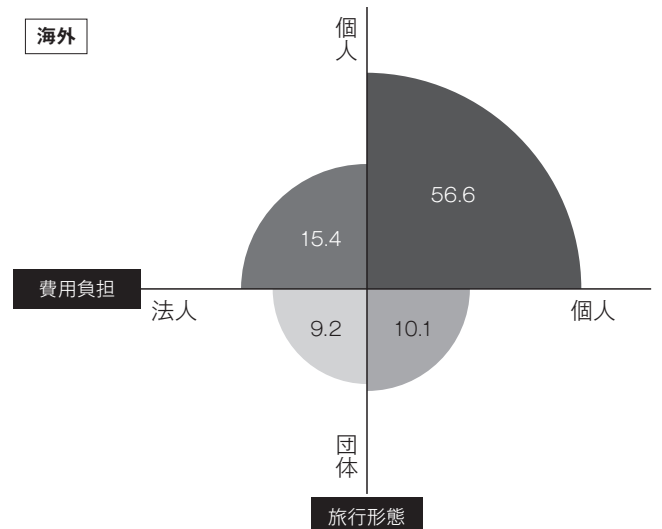
(単位:%)



資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図 I - 1-4 海外旅行の負担者別・旅行形態別のシェア(2020年)

(単位:%)



資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

3 旅行市場区分（観光レクリエーション）

夫婦・カップルの旅行シェアが最も高く39.2%

(1) マーケットセグメント別の市場シェア

旅行は「誰と行くか」によって、内容が大きく左右される。特に家族旅行の場合、子供の有無や年齢によって、旅行の内容は大きく変化する。そこで旅行マーケットのセグメンテーションとして、まず「旅行の同行者」を軸にして『家族旅行』『夫

婦・カップル旅行』『友人旅行』『ひとり旅』に大きく区分し、さらにその旅行者の「ライフステージ（配偶者や子供の有無、子供の年齢）」を軸として、17のセグメント（3世代家族旅行は除く）に細分化した。（表I-1-4）

セグメントごとのシェアを概観すると、国内旅行では「夫婦・カップル旅行」のシェア39.2%と最も高く、次いで「家族旅行」が27.9%、「友人旅行」が16.1%を占めた。「ひとり旅」は全体の15.4%を占め、そのうち10.4%は「男性のひとり旅」であった。

国内旅行におけるセグメント別分析の詳細は、28～34ページに掲載した。

表 I -1-4 観光レクリエーション旅行の市場区分

マーケットセグメント		旅行の同行者	ライフステージ
家族旅行	乳幼児の子どもと一緒にの家族旅行(小中高生を含まない)	子供連れ	乳幼児の子あり
	小中高生の子どもと一緒にの家族旅行(乳幼児連れも含む)	子供連れ	小中高生の子あり
	18歳以上のみの家族旅行	子供連れ 親を連れて	末子が18歳以上 —
	※内、3世代家族旅行	3世代で	—
夫婦・カップル旅行	カップルでの旅行	カップルで	—
	夫婦での旅行(子どもなし)	夫婦で	子供なし
	子育て中の夫婦での旅行	夫婦で	末子が18歳未満
	子育て後の夫婦での旅行	夫婦で	末子が18歳以上
友人旅行	未婚男性による友人旅行	友人や知人と	未婚男性
	既婚男性による友人旅行(子どもなし)	友人や知人と	既婚男性・子供なし
	子育て中の男性による友人旅行	友人や知人と	末子が18歳未満
	子育て後の男性による友人旅行	友人や知人と	末子が18歳以上
	未婚女性による友人旅行	友人や知人と	未婚女性
	既婚女性による友人旅行(子どもなし)	友人や知人と	既婚女性・子供なし
	子育て中の女性による友人旅行	友人や知人と	末子が18歳未満
	子育て後の女性による友人旅行	友人や知人と	末子が18歳以上
ひとり旅	男性のひとり旅	自分ひとりで	男性
	女性のひとり旅	自分ひとりで	女性

※3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する。

資料：(公財)日本交通公社作成

表 I -1-5 観光レクリエーション旅行の市場区分別のシェア

(単位：%)

マーケットセグメント		国内旅行	海外旅行
家族旅行		27.9	—
	乳幼児の子どもと一緒にの家族旅行(小中高生を含まない)	5.4	—
	小中高生の子どもと一緒にの家族旅行(乳幼児連れも含む)	11.1	—
	18歳以上のみの家族旅行	11.4	—
	※内、3世代家族旅行	6.4	—
夫婦・カップル旅行		39.2	—
	カップルでの旅行	10.0	—
	夫婦での旅行(子どもなし)	10.7	—
	子育て中の夫婦での旅行	1.5	—
	子育て後の夫婦での旅行	16.9	—
友人旅行		16.1	—
	未婚男性による友人旅行	4.4	—
	既婚男性による友人旅行(子どもなし)	0.6	—
	子育て中の男性による友人旅行	0.6	—
	子育て後の男性による友人旅行	2.4	—
	未婚女性による友人旅行	3.8	—
	既婚女性による友人旅行(子どもなし)	0.9	—
	子育て中の女性による友人旅行	0.4	—
子育て後の女性による友人旅行	2.9	—	
ひとり旅		15.4	—
	男性のひとり旅	10.5	—
	女性のひとり旅	4.9	—
その他		1.4	—
全体		100.0	—

※3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する。

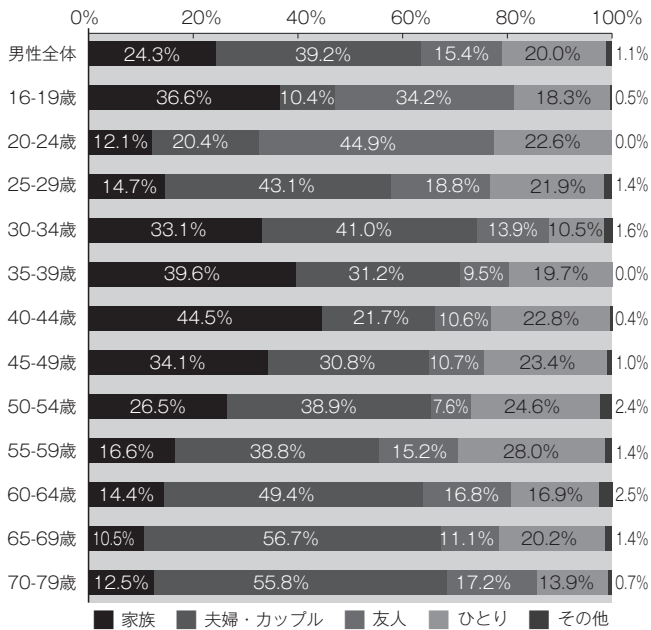
資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

※16歳未満の旅行者はアンケート調査の対象となっていないため、上記シェアからは除外。

(2)性・年代別にみる同行者別の市場シェア

同行者は、年代の移り変わりに伴って変化する。国内旅行の同行者を性・年代別にみると、男性では20歳未満および30歳以上から55歳未満のセグメントで、「家族」の占める割合が男性全体の平均よりも高かった。20～24歳では「友人」の占める割合が44.9%と最も高いが、25～29歳では「夫婦・カップル」が43.1%に対して「友人」は18.8%と、近接する年代間で差異がみられた。60歳以上ではいずれのセグメントも「夫婦・カップル」が全体の半数程度を占めた。

図 I -1-5 国内旅行における年代別同行者(男性)

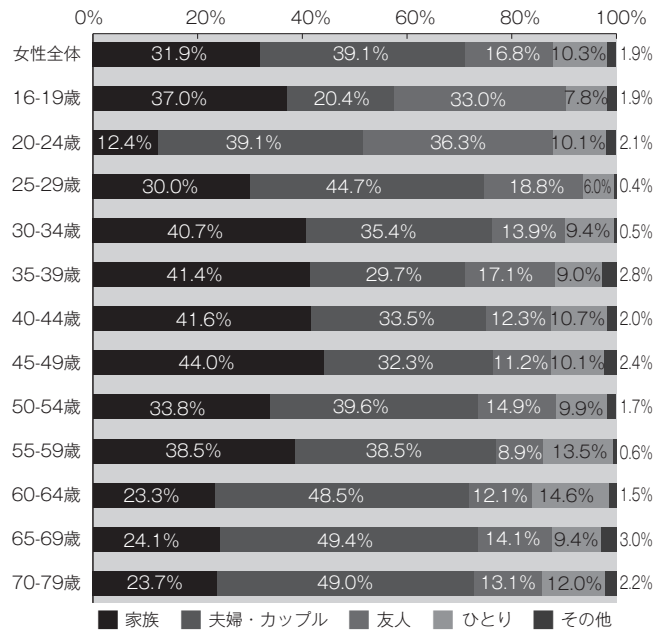


資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

女性では20歳未満および30歳以上から59歳未満のセグメントで、「家族」の占める割合が女性全体の平均よりも高かった。20～24歳では「夫婦・カップル」が39.1%、「友人」が36.3%をそれぞれ占める一方、25～29歳では「夫婦・カップル」が44.7%で最も高く、男性の場合と内訳は異なるものの、女性でも近接する年代間でシェアの差異がみられた。60歳以上ではいずれのセグメントも「夫婦・カップル」が全体の半数程度を占めた(図I-1-5、図I-1-6)。

(那須 将)

図 I -1-6 国内旅行における年代別同行者(女性)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」